

科目	生物活用
----	------

担当者名 生産科学科 清家 拓実・城戸 芳幸

教 科		農 業	単位数	2	学科・学年	生産科学科 3 年
使用教科書		生物活用（実教出版）			副教材等	なし
授業の概要	1 園芸活動を通して生活の質の向上や健康の改善を図り、生活文化や環境改善の知識と技術を学習します。 2 草花に関する基本的な知識と栽培技術を身に付けます。				学習の目標	1 草花の生理や生態、栽培環境の知識を身に付けます。 2 菊の生産技術について、その知識や技術を身に付けます。
学 習 内 容					評価の観点・評価方法等（※学期ごとに下記の項目で評価します。）	
1 学期	1 園芸の活用と効果 （1）暮らしと園芸 （2）園芸の効果 （3）園芸の効果を生かす活用場面 （4）菊の栽培				関心・意欲・態度	【趣旨】 ・草花に対する関心や探究心をもち、意欲的にそれらを探究しようとするとともに、科学的態度を身に付けている。 【評価方法】 ・服装・出席・提出物や授業態度等で（関心・意欲・態度）を評価します。 【割合】 ・20%
					思考・判断・表現	【趣旨】 ・主に栽培に関する実習を通して課題を見つけ、探求する過程を通して課題を科学的に考察し、考えを的確に表現している。 【評価方法】 ・発問に対する解答や作業学習において（思考・判断・表現）を評価します。 【割合】 ・10%
2 学期	2 夏から秋の草花の栽培計画と管理 （1）誘引、摘心、消毒 （2）栽培管理 （3）宿根草（菊）の栽培と展示				技 能	【趣旨】 ・主にフラワーアレンジメントに関する技能実習を通して、それらの過程や結果を的確に記録、整理し、科学的に探究する技能を身に付けている。 【評価方法】 ・実習や課題によって（技能）を評価します。 【割合】 ・20%
3 学期					3 草花栽培と活用 （1）フラワーデザイン （2）育苗技術の実際と応用	知 識・理 解
	その他	・学年の評価は、1 学期、2 学期、3 学期の評価を総合して行います。				
課題提出物等	1 定期的にノートを提出します。 2 実験プリントなどを実験ごとに提出します。 3 考査後、考査問題の訂正と反省をノートにまとめて提出します。					
担当者より	1 授業は、座学と実習があります。 2 座学では、分からないところは積極的に質問しましょう。 3 実習では、ノートに作業内容や使った道具、感想などを細かく記録しておきましょう。					